

子のやる気 親の気づき

C
C
10

と突然、私の携帯に高校生の塾生からメールが来ることがあります。『投げ込みメール』とても呼びたくなるような、とらえ方によつては甚だ失礼なメールです。タイトルはもちらん「無題」であり、本文は用件のみ。いき

ます」「せめて「こんばんは」程度でもあいさつがあるてもよいのではないかと思つてしますが、これも世間の異文化なのでしょうか。

たちは「あつ、すみません。メールを読んで確かにと、思つてそのまま…」と答えます。悪気はないのです。ただ、目上の人との付き合い方の経験が未熟なのです。親と学校の先生のほかに大人と接する機会の少ない今の子どもたちは、"自分の出し方"で悩んでしまうのです。

先日、中3の男子が教室の電話を借りて母親の携帯に連絡を入れた時、「先生、電話が変です。つながりません」と慌てているのです。私が「話し中なん

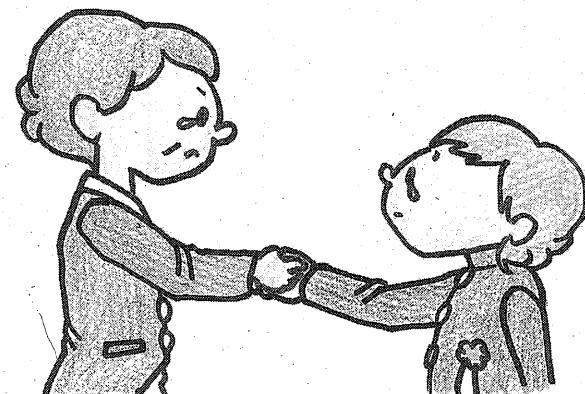
じゃないの?」と言つたら、「えっ、話しちつて何ですか?」と真顔で聞いてきました。後でお母さまに伝えたう、「昨日キャッチホンを解約したからです」ね」とおっしゃいました。子どもの安全が最優先であるのはもちろんですが、一方で子どもを送迎する機会が増え、固定電話よりも携帯電話が便利になりました。しかし、親子が常時接続状態では子どもの経験値は上がっていません。例えば「お母さん、迎えに来て」と電話し

なり家の中に踏み込まれ、用件を突きつけられたような気がします。

また、「説明会、おれの親行かないそうです」や「今日相談をしたい」とメールしていたんですが、本日塾休みます」等々、メールで済ませられる内容だろうかと首をひねってしまふものも少なくありません。大人同士だったら「お世話になつています」や「お疲れさ

経験値

自分の出し方考え方



by vorika

ようとしたら話しが中
つながらず、散々待た
された揚げ句「なに長
電話してんだよ」と文
句を言つてきたとした
ら、「大切な話なの。
子どもの出る幕じやな
いの!」とそこで一喝
を挟んでみたらいかが
でしようか。携帯が標準
、メールで事が足り
るライフスタイルの中、逆につながつてい
ると実感し、自分の出
し方を考える機会にも
なるのです。

科の）日本史
いくらい」と
驚いたのは
アルバイト先
遭っていたこ
ビス残業させ
割増や有給生
い。試験前で
せないケース
校生が都合の
されている」
「働くため
と、おかしな
上げられない
業の成果を業
「絶対トクす
ト術」（きょく

(長) 番山篤志學塾

市花見川区) 諭(五)は数年学習の時間で組んできた。イト体験を話り、給与明細つて見比べた参加型の授業す。「生徒の」う。質問も多う。科の)日本史いくらい」と驚いたのはアルバイト先遭っていたこと。バス残業させ割増や有給生い。試験前でせないケース校生が都合のされている」「働くためと、おかしな上げられない業の成果を「絶対トクすト術」(きよぐ

労働環境
出る前に差
ておいてほ
めた高校生
やNPO法
用を呼び掛

教育

どん下がるデフレが続
き、もうかる会社は少な
くなっています。そこ
で、労働組合は、社員全
員の給料を底上げする
「ベースアップ（ベア）」
はあきらめました。
代わりに、「定期昇給
（定期昇給）」として、社員

たとえば、乗用車に不具合が見つかり、無料で修理することになったトヨタ自動車では、定昇は認められたものの、経営者が示したボーナスの金額は労働組合の要求を下回りました。

カーネギーの経営者の代表